

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあいについてホームから地域に向けての情報発信、地域の認知症に対する理解を深めていく取り組みが必要。	若松町内会長に相談、広報わかまつに寄稿させていただき、グループホームの紹介や認知症についての豆知識などを発信する。	①運営推進会議などで町内会長に寄稿の相談 ②入居者家族にホームの紹介や写真掲載の許可、了解を得る。	来年4月頃を目指す
2	35	○災害対策 避難方法については、より実効性のあるものとなるよう、併設施設や地域住民の応援者にわかるような工夫がなされていない。	各居室ドアに歩行状態(独歩、シルバーカー等)のマークを付け、応援者に避難方法を知らせる。 併設施設の職員と日頃から顔なじみの関係が築けるよう交流などを行う。	①各居室ドアに避難マークを付ける。 ②ホーム見取り図、避難方法、アニュアルをホーム内に提示し、職員、家族など誰でも把握できるようにする。 ③併設施設職員(特に新人)にグループホームの勉強会や見学、職場体験などしていただく。 ④行事(慰問など)に参加させていただく。	①・② 今年12月中 ③ 来季計画に取り入れる ④今年12月より
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。